

総合的な学習の時間【校内研修パッケージ】

「今、求められる資質・能力」の  
育成に向けて

# 内 容

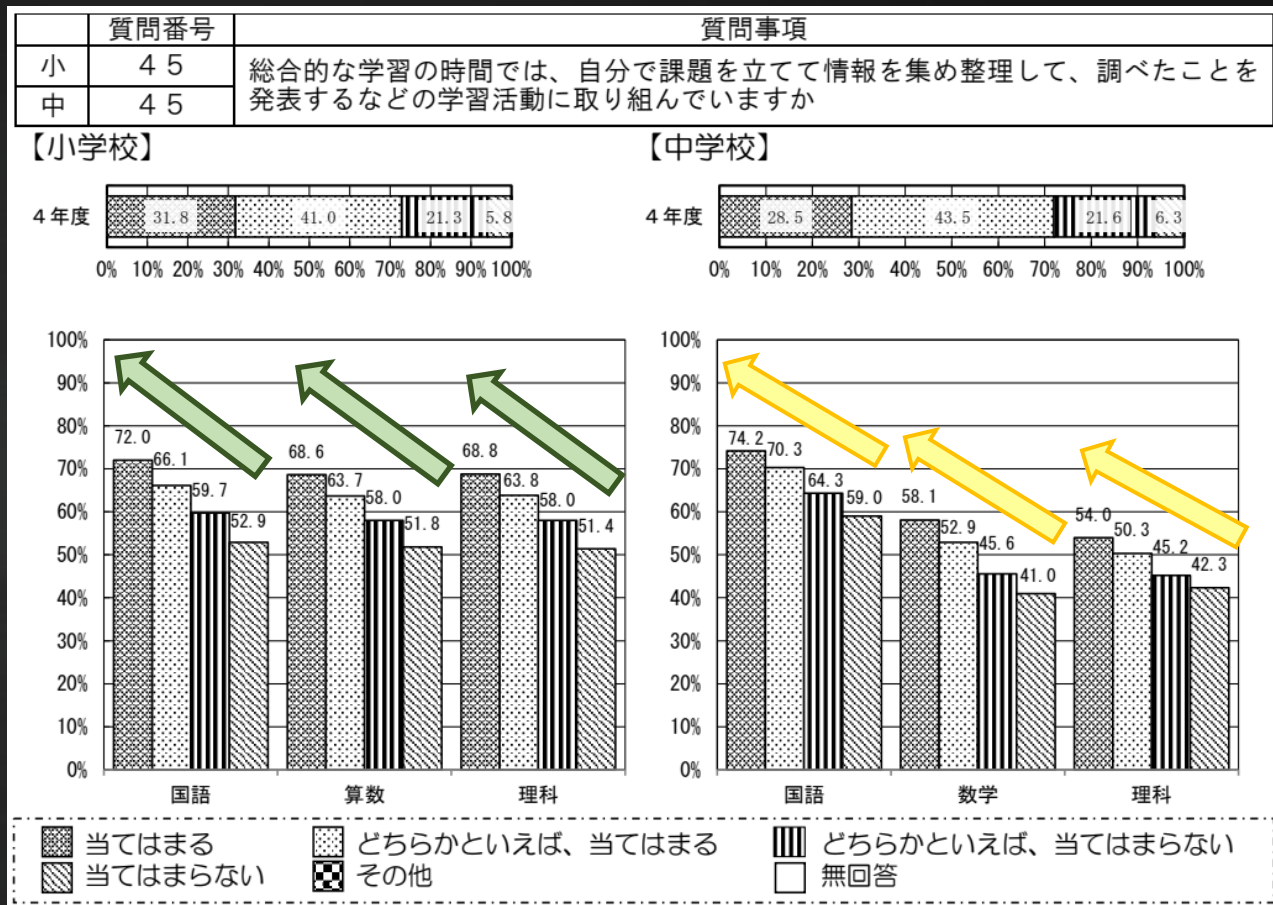
- 学習指導要領改訂の趣旨と要点
- 目標及び内容の改善・充実

# 学習指導要領改訂の趣旨と要点

# 学習指導要領改訂の趣旨と要点

## 成果

総合的な学習の時間で**探究のプロセス**を意識した学習活動に取り組んでいる児童生徒ほど**各教科の正答率が高い**傾向にある。



令和4年度全国学力・学習状況調査（児童生徒質問紙と学力のクロス分析）

# 学習指導要領改訂の趣旨と要点

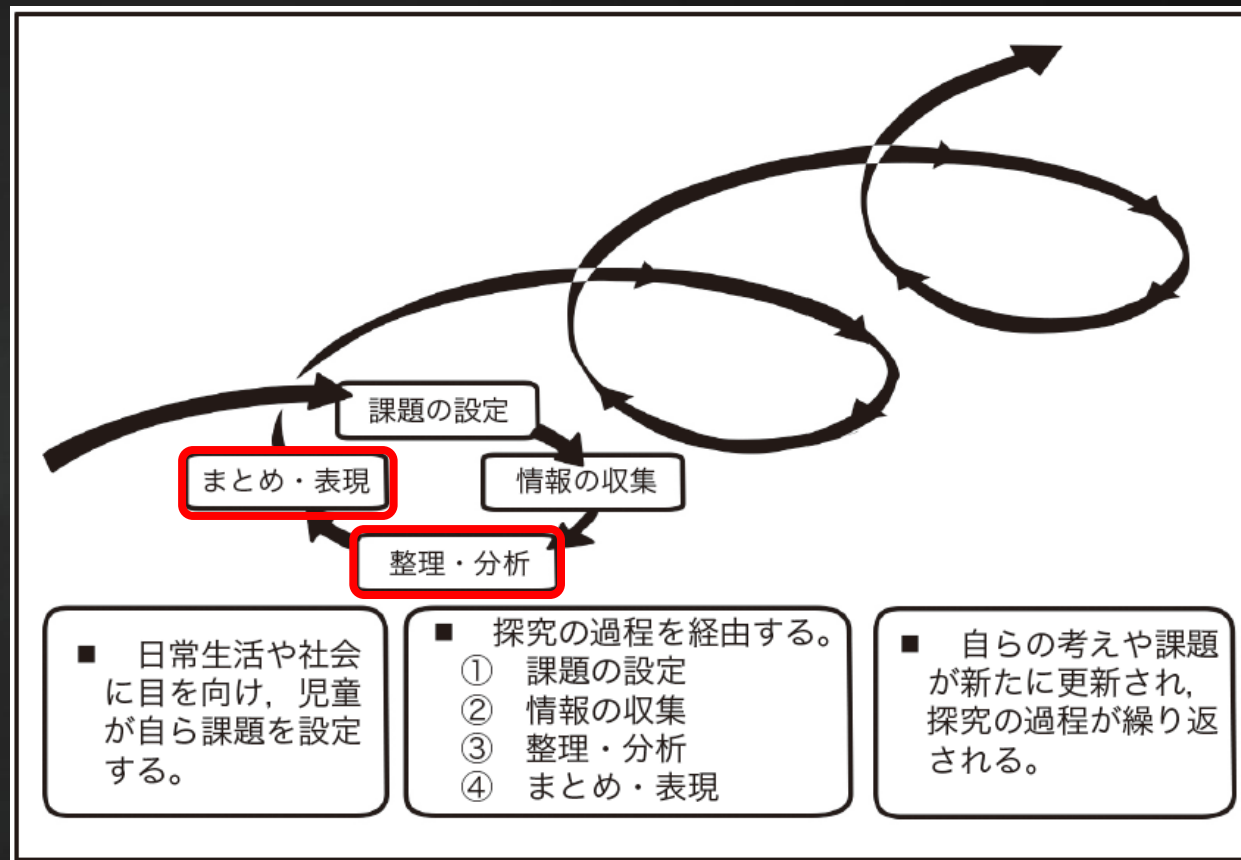
## 課題

・資質・能力の育成、総合的な学習の時間と各教科等との関連の明確化について学校による差

⇒カリキュラム・マネジメント

・「整理・分析」、「まとめ・表現」の充実

⇒一人一人の資質・能力の向上



# 学習指導要領改訂の趣旨と要点

## 改訂の基本的な考え方

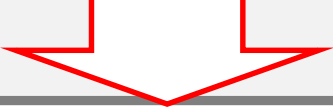
- ・探究的な学習の過程の一層の重視
- ・各教科等で育成する資質・能力を相互に関連付け
- ・各教科等を越えた学習の基盤となる資質・能力の育成

目標及び内容の改善・充実

# 目標及び内容の改善・充実

## 第1 目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。



### 知識及び技能

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

### 思考力、判断力、表現力等

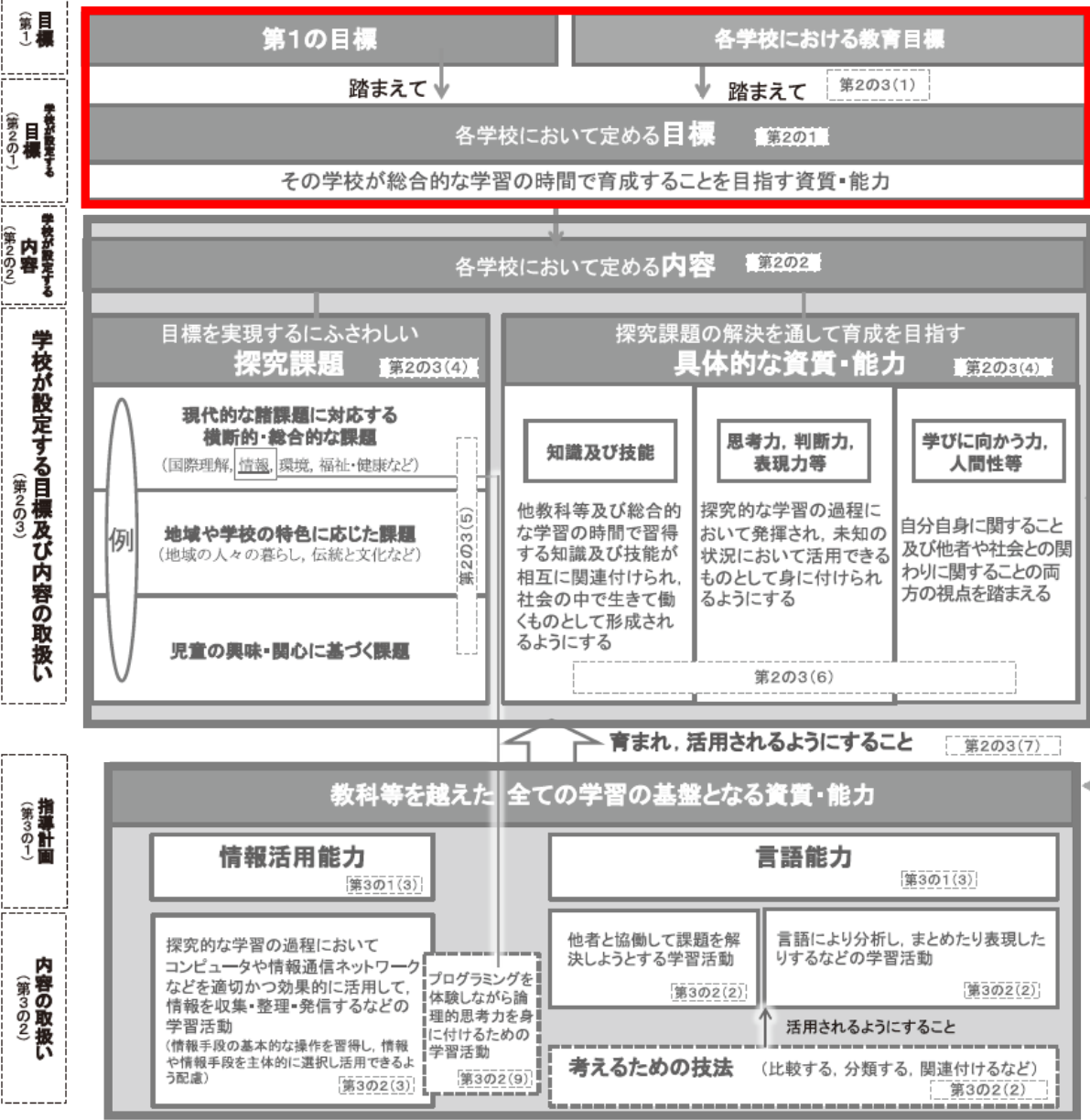
(2) 実社会や実生活の中から問題を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

### 学びに向かう力、人間性等

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。



# 目標及び内容の改善・充実



相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにする

他教科等で身に付けた資質・能力

## 目標の改善

- ① 「探究的な見方・考え方」を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを指すものであることを明確化
- ② 教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの軸となるよう、各学校における教育目標を踏まえて設定

## 内容の改善

- ① 「目標を実現するにふさわしい探究課題」「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」を設定
- ② 他教科等で育成する資質・能力を相互に関連付け、実社会・実生活の中で総合的に活用
- ③ 教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力を育成
- ④ 体験活動、地域の教材や学習環境を積極的に取り入れること等は引き続き重視

# 目標及び内容の改善・充実

## 第1の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる**概念を形成し、探究的な学習のよさを理解**するようにする。【知識及び技能】
- (2) 実社会や実生活の中から問題を見だし、**自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現**することができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 探究的な学習に**主体的・協働的**に取り組むとともに、**互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画**しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

学校教育目標  
笑顔あふれる子 ～心豊かな子 ともに学ぶ子 たくましい子～

実現を目指す児童生徒の姿を具体的に描く

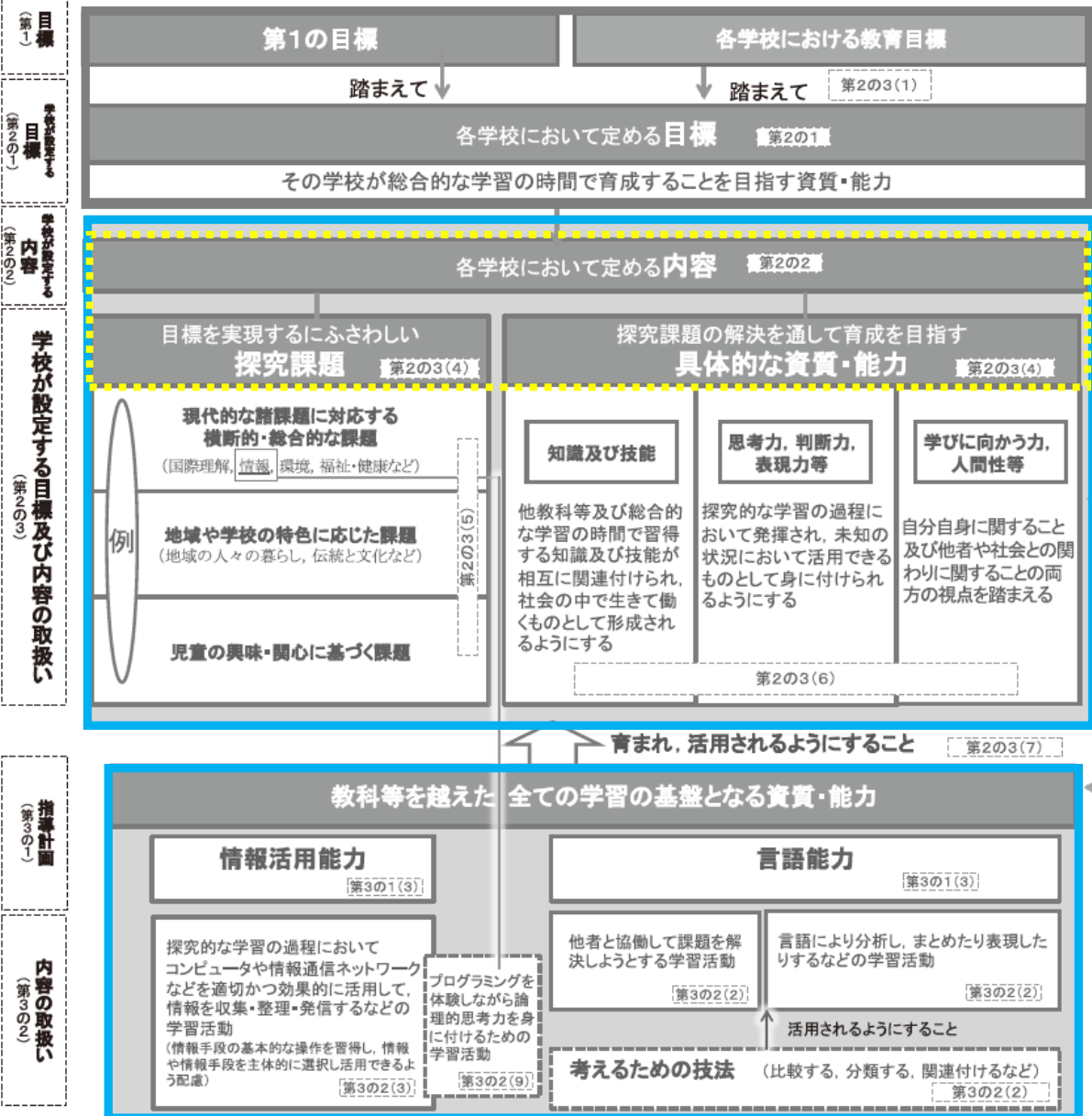
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
心豊かな子	地域のよさ	解決の見通しをもつ	地域に目を向ける
ともに学ぶ子	人々の努力	解決に向けて協働する	多様な人々と関わる
たくましい子	支え合う必要性	根拠をもとに粘り強く取り組む	自分を見つめる

## 各学校において定める目標

探究的な見方・考え方を働かせ、身の回りや町（地域）に目を向け、様々な人と関わることを通して、**自分の設定した課題を粘り強く追究し、自分を見つめ、自己の生き方を考える**ことができるようにするために、以下の資質・能力を育成する

- (1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、**地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く**。
- (2) 地域の人、もの、ことの中から問を見だし、その解決に向けて**見通しをもって調べ**、集めた情報を整理・分析し、**根拠を明らかにしてまとめ・表現する力**を身に付ける。
- (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、**持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度**を育てる。

# 目標及び内容の改善・充実



相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにする

他教科等で身に付けた資質・能力

## 目標の改善

- ①「探究的な見方・考え方」を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを指すものであることを明確化
- ②教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの軸となるよう、各学校における教育目標を踏まえて設定

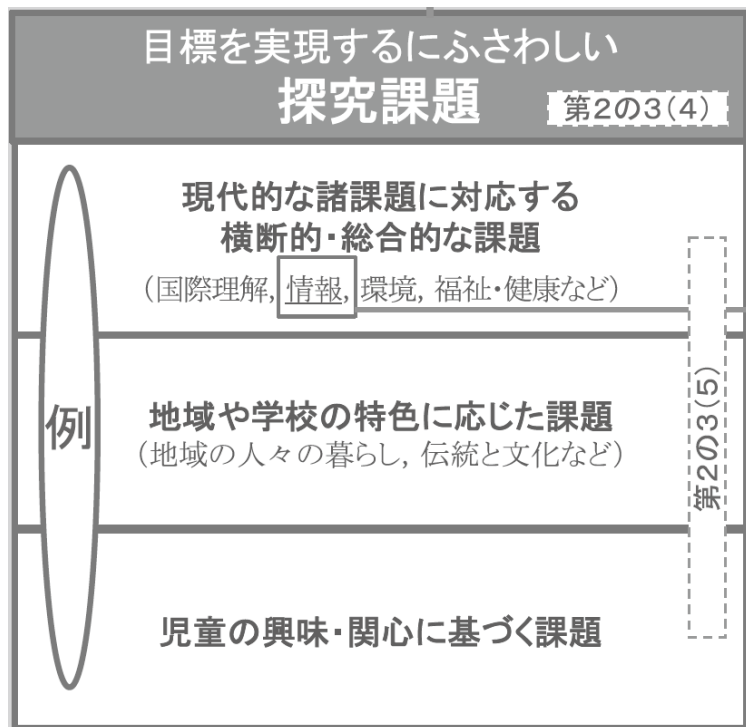
## 内容の改善

- ①「目標を実現するにふさわしい探究課題」「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」を設定
- ②他教科等で育成する資質・能力を相互に関連付け、実社会・実生活の中で総合的に活用
- ③教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力を育成
- ④体験活動、地域の教材や学習環境を積極的に取り入れること等は引き続き重視

(第1) 目標  
各学校教育目標  
(第2の1) 目標  
各学校教育目標  
(第2の2) 内容  
各学校教育目標  
学校が設定する目標及び内容の取扱い  
(第2の3) 内容  
各学校教育目標  
指導計画  
(第3の1) 内容  
各学校教育目標  
内容の取扱い  
(第3の2) 内容  
各学校教育目標

# 目標及び内容の改善・充実

## 何について学ぶのか



探究課題が兼ね備える要件

- ①探究的な見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい課題であること
- ②その課題をめぐって展開される学習が、横断的・総合的な学習であること
- ③その課題を学ぶことにより、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくことに結び付いていくような資質・能力の育成が見込めること

三つ(四つ)の課題	探究課題の例
横断的・総合的な課題(現代的な諸課題)	地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観(国際理解)
	情報化の進展とそれに伴う日常生活や社会(消費行動)の変化(情報)
	身近な(地域の)自然環境とそこに起きている環境問題(環境)
	身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々(福祉)
	毎日の健康な生活とストレスのある社会(健康)
	自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題(資源エネルギー)
	安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々(安全)
	食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者(食)
	科学技術の進歩と自分たちの暮らし(社会生活)の変化(科学技術)
	など
地域や学校の特色に応じた課題	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織(町づくり)
	地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々(伝統文化)
	商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会(地域経済)
	防災のための安全な町づくりとその取組(防災)
	など
児童(生徒)の興味・関心に基づく課題	実社会で働く人々の姿と自己の将来(キャリア)
	ものづくりの面白さや工夫と生活の発展(ものづくり)
	生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ(生命)
	など
職業や自己の将来に関する課題	職業の選択と社会への貢献(職業)
	働くことの意味や働く人の夢や願い(勤労)
	など

※黒文字：小中共通、緑文字：小学校、青文字：中学校

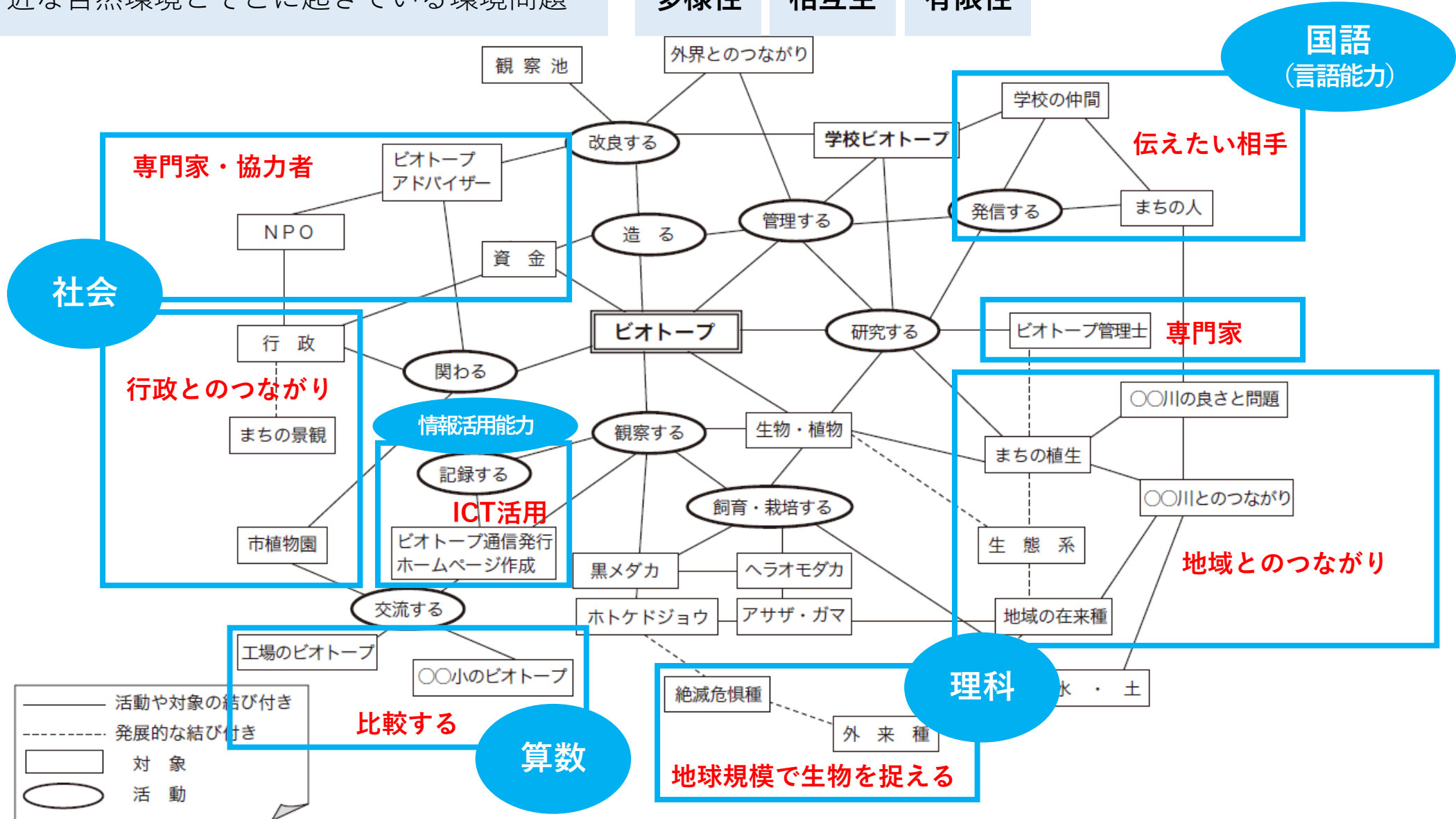
# 目標及び内容の改善・充実

【探究課題】 身近な自然環境とそこに起きている環境問題

多様性

相互生

有限性



# 目標及び内容の改善・充実

学年の全教育活動を視野に入れることができるように、総合的な学習の時間における単元と、各教科等の単元を配置することに加え、相互の関連を線で結べば、1年間の流れの中で各教科等との関連を見通した年間指導計画（単元配列表）を作成することができる。

特に、単元名や学習活動だけでなく、育成を目指す資質・能力が記され、それらが**相互に関連する**ことが示されれば、それぞれの学習活動は一層充実し、**資質・能力が確かに育成される**。総合的な学習の時間において、各教科等で育成された資質・能力が発揮されたり、逆に総合的な学習の時間で育成された資質・能力が各教科等の学習活動で活用されたりといったことを児童が経験することによって、身に付けた資質・能力は汎用的な資質・能力として育成される。

総合的な学習の時間と各教科等の単元を関連付けた年間指導計画（例）

年間指導計画（第3学年）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
総合的な学習の時間 (70)	私たちの未来—今と昔、暮らしの変化を探ろう— ○昔の写真をもとに地域探訪し、地域の暮らしの変化を調査しよう ○暮らしの変化に伴い、私たちの何が変わったのか、どのような問題が生じたのか、豊かな自然とは何かについて議論しよう ○自分ほどどのように生活し、社会と関わっていくかをみよう ・写真をもとにした地域探訪、インタビュー等の調査活動 ・エネルギー消費に関する講演会 ・電気を使わない生活体験（森林キャンプ） ・学びを通じて（振り返り）				私たちの未来—地球環境討論会— ○地球温暖化問題、水不足問題、食糧問題、エネルギー問題等の私たちの暮らしに関わる諸問題を、各県の主要エネルギーや資源事情、社会制度、歴史的背景、地理的要因、文化、人口などとの関係から整理しよう ○地球環境討論会を行い、世界や自分たちのこれからの在り方について様々な立場の人と議論しよう ○国際社会の在り方、関係づくり、自らの生き方についてまとめよう ・私たちの暮らしに関する講演会 ・シゴター学習、ポスターセッション ・地球環境サミット ・学びを通じて（振り返り）								
総合的な学習の時間 (70)	学習活動に関するガイダンス	地域探訪 インタビュー等の調査活動	講演会 森林キャンプに向けて	森林キャンプ	振り返り活動	暮らしに関わる諸問題について整理 講演会	暮らしに関わる諸問題について整理 地球環境討論会・討論ブース準備・討論会	振り返り活動	振り返り活動				
国語 (105)	読み 社会との関わりを伝えよう	相手や目的に応じたスピーチをする	聴力的な短話を創作しよう	もっと広げる表現を目指して	「批評」の意義をたぬ	新聞の社説を比較して読もう	「おののこ」から 古典を中心に 話し合ってみよう	課題解決に 向けて会議 を開こう	読解力のある文章を書こう				
社会 (140)	近代国家の歩みと国際社会	二度の世界大戦と日本	現代に続く日本と世界	現代社会と私たちの生活	個人の尊厳と日本国憲法	現代の民主政治と社会	私たちを取り巻く経済	地球社会と私たち					
数学 (140)	式の展開と因数分解	平方根	2次方程式	関数	図形の相似	円周角と中心角	三平方の定理						
理科 (140)	生物の成長とふえ方	遺伝の規則性と遺伝子	水溶液とイオン	酸・アルカリと塩	力のつり合い	物体の運動	多様なエネルギーの移り変わり	エネルギー資源とその利用	地球と宇宙の外の動き	太陽と恒星の動き	自然のつくりかえ	人間と環境	自然が人間の生活に及ぼす影響
音楽 (35)	情景をイメージしながら声部の役割を意識して歌おう	曲の構成を理解して、「ボレロ」を観賞しよう	言葉のリズムや抑揚を生かし、簡単な旋律を作ろう	歌詞の内容と曲想を理解して、混声合唱曲を歌おう	一ディケーションを工夫して表現豊かに演奏しよう	「完結の月」の前奏をつけて演奏しよう	民謡の響きにふさわしい表現を工夫して歌おう						
美術 (35)	新りの造形	人の形に込めたもの	デザインで伝える		水でつくる工芸	光と明かり	自分と向き合う						
保健体育 (105)	体づくり運動	陸上競技	体づくり運動	陸球（ベースボール型）	ダンス	器械運動							
技術・家庭 (35)	エネルギー変換機構の仕組みと保守点検	住居の機能と住まい方		プログラムによる計測・制御	家庭生活と消費	情報							

例えば、

- 社会科**の資料活用の方法を生かして情報収集する。
- 数学科**の統計の手法でデータを整理する。
- 国語科**で学習した文章の書き方を生かして分かりやすいレポートを作成する。
- 理科**で学んだ生物と環境の学習を生かして、地域に生息する生き物の生態系を考える。

- 総合の体験活動を生かして**国語科**の時間に案内状やお礼状を書く。
- 総合で食や健康に関心をもつと、**技術・家庭科（家庭分野）**における栄養を考えた食事や快適な住まい方の学習に前向きに取り組む。
- 総合で福祉や健康について学んだことの成果を生かして、**保健体育科**における学習に深まりと広がりを生み出す。

# 目標及び内容の改善・充実

どのようなことができるようになるか

探究課題の解決を通して育成を目指す  
具体的な資質・能力

第2の3(4)

知識及び技能

他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする

思考力, 判断力,  
表現力等

探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにする

学びに向かう力,  
人間性等

自分自身に関する事及び他者や社会との関わりに関する事の両方の視点を踏まえる

第2の3(6)

- ①概念的な知識の獲得
- ②自在に活用することが可能な技能の獲得
- ③探究的な学習のよさの理解の三つに関する資質・能力を児童生徒の姿として作成

- ①課題の設定
- ②情報の収集
- ③整理・分析
- ④まとめ・表現の過程で育成される資質・能力を児童生徒の姿として示して作成

## 第1の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。【知識及び技能】
- (2) 実社会や実生活の中から問題を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

- ①自他を尊重する「自己理解・他者理解」
- ②自ら取り組んだり力を合わせたりする「主体性・協働性」
- ③未来に向かって継続的に社会に関わろうとする「将来展望・社会参画」などについて育成される資質・能力を児童生徒の姿として示し作成

# 目標及び内容の改善・充実

## 【考えるための技法】

### 順序付ける

- ・複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える。

### 比較する

- ・複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。

### 分類する

- ・複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる。

### 関連付ける

- ・複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。
- ・ある対象に関係するものを見付けて増やしていく。

### 多面的に見る・多角的に見る

- ・対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。

### 理由付ける

- ・対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする。

### 見通す

- ・見通しを立てる。物事の結果を予想する。

### 具体化する

- ・対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする。（個別化する、分解する）

### 抽象化する

- ・対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする。（一般化する、統合する）

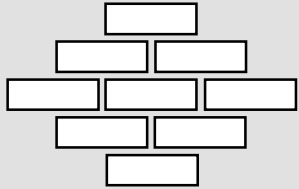
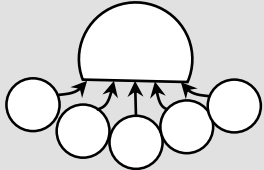
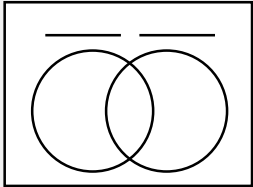
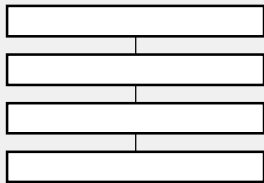
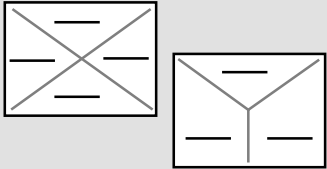
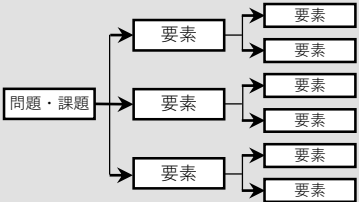
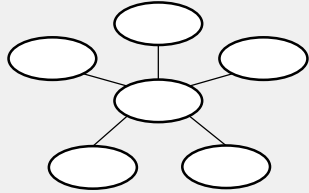
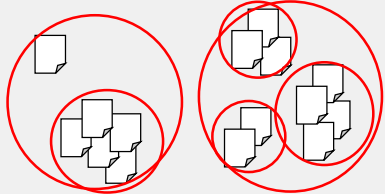
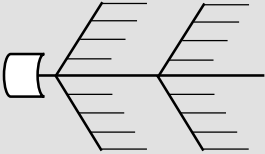
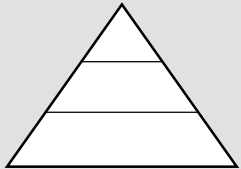
### 構造化する

- ・考えを構造的（網構造・層構造など）に整理する。



# 目標及び内容の改善・充実

【〇〇学校の思考ツールとして活用していく】

考えるための技法	代表的な思考ツール	考えるための技法	代表的な思考ツール
順序付ける	 <p>ダイヤモンド ランキング</p>	理由付ける	 <p>クラゲチャート</p>
比較する	 <p>ベン図</p>	見通す (結果を予想する)	 <p>ステップチャート</p>
分類する	 <p>Xチャート Yチャート</p>	具体化する (個別化する) (分解する)	 <p>ロジックツリー</p>
関連付ける	 <p>コンセプトマップ</p>	抽象化する (一般化する) (統合する)	 <p>グルーピング</p>
多面的に見る・ 多角的に見る	 <p>フィッシュボーン</p>	構造化する	 <p>ピラミッドチャート</p>

# 目標及び内容の改善・充実

どのようなことができるようになるか

探究課題の解決を通して育成を目指す  
具体的な資質・能力

第2の3(4)

知識及び技能

他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする

思考力, 判断力,  
表現力等

探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにする

学びに向かう力,  
人間性等

自分自身に関する事及び他者や社会との関わりに関する事の両方の視点を踏まえる

第2の3(6)

- ①概念的な知識の獲得
- ②自在に活用することが可能な技能の獲得
- ③探究的な学習のよさの理解の三つに関する資質・能力を児童の姿として作成

- ①課題の設定
  - ②情報の収集
  - ③整理・分析
  - ④まとめ・表現
- の過程で育成される資質・能力を児童の姿として示して作成

## 第1の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。【知識及び技能】
- (2) 実社会や実生活の中から問題を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

- ①自他を尊重する「自己理解・他者理解」
  - ②自ら取り組んだり力を合わせたりする「主体性・協働性」
  - ③未来に向かって継続的に社会に関わろうとする「将来展望・社会参画」
- などについて育成される資質・能力を児童の姿として示し作成

# まとめ

- ①各学校における教育目標を踏まえた総合的な学習の時間の目標の設定
- ②目標を実現するにふさわしい探究課題の設定
- ③探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力の設定
- ④学習に対する主体性の育成に向けた児童生徒による探究課題の設定
- ⑤総合的な学習の時間と各教科等の相互の関わりを意識したカリキュラム・マネジメントの充実
- ⑥探究のプロセスを通じた一人一人の資質・能力の向上

## 【参考資料】

- 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

